

平成30年度の取り組み事項について（予定）

環境省九州地方環境事務所

1. 山岳部利用関係

(1) 調査・モニタリング

- ①主要登山道の登山者数【モニタリング ID19】
- ②避難小屋の利用状況【モニタリング ID19 関連】
- ③登山道周辺の植生荒廃や自然景観資源の現状把握【モニタリング ID7・24】
- ④携帯トイレの導入状況【モニタリング ID21】

(2) 山岳部利用のあり方検討

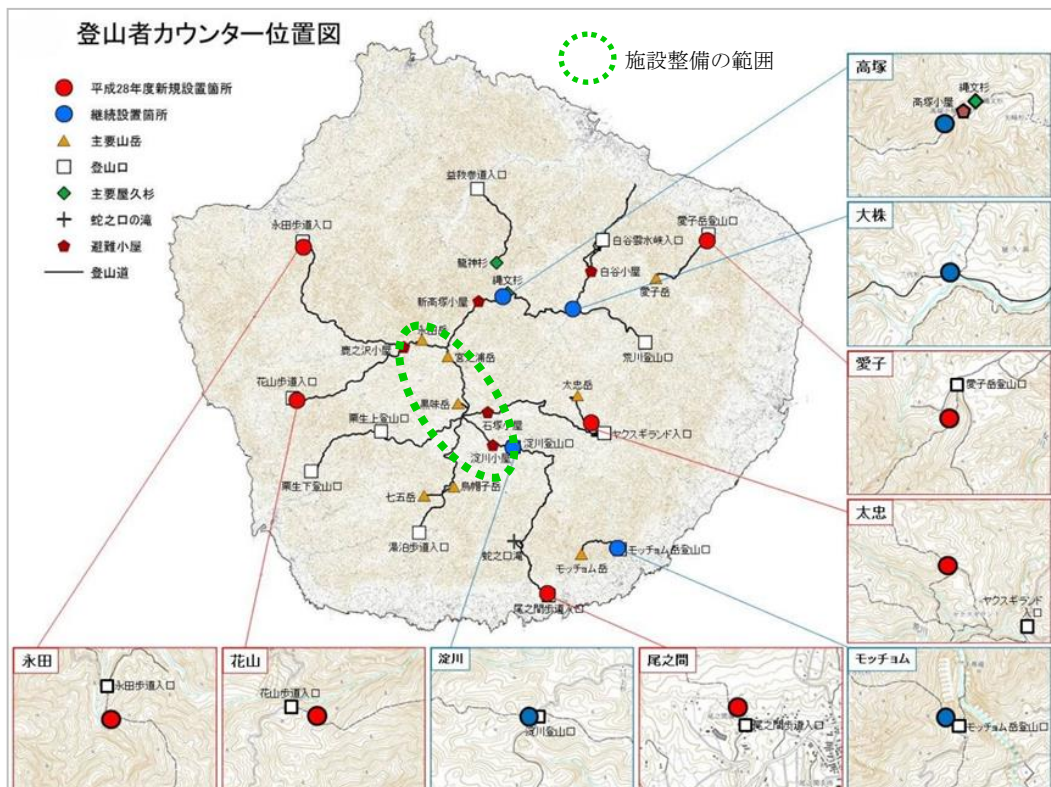
「屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会」

○検討事項：山岳部適正利用ビジョン

登山ルートごとのランク分けとルートごと管理方針

(3) 施設整備

- ①工事
 - ・焼野三叉路～鹿之沢小屋区間の浸食防止対策
 - ・淀川登山口での休憩舎設置（協力金徴収機能等）
- ②設計
 - ・淀川登山口～平石岩屋区間の浸食防止対策など



2. ヤクシカ関係

(1) 調査・モニタリング

- ①ヤクシカの生息状況の把握【モニタリング ID9】
 - ・生息状況調査（糞塊法全島 105 メッシュ）と糞塊密度分布の推定
 - ・糞塊法調査結果と糞粒法調査結果の相関関係の分析等
- ②ヤクシカの捕獲状況の情報整理【モニタリング ID10 関連】
- ③植生保護柵内外の植生等調査【モニタリング ID11】

(2) 計画捕獲の実施に向けた取り組み

- ①シャープシューティングの体制による試験捕獲の実施
 - ・「効果的に計画捕獲を継続していく」ことを念頭に試験捕獲を行う。
 - 路線を増やす、実施回数を複数2回にする等して実施
 - 結果を踏まえ導入条件や事業としての実施体制を明確化 等
- ②保護地域内でのヤクシカ管理実施計画の検討
 - ・関係機関と協力しながら、第二種特定鳥獣管理計画で位置づけられた“計画捕獲に関する実施計画”の案を作成。
 - 基本方針、ゾーニング、目標、手法、モニタリング 等